

News Release

プルデンシャル生命保険株式会社

〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-13-10 プルデンシャルタワー
<http://www.prudential.co.jp>



2005 年 5 月 9 日

プルデンシャル生命保険株式会社

完全キャッシュレス化を実現 現金授受の煩わしさとリスクから解放

プルデンシャル生命保険株式会社（本社 東京都千代田区永田町、代表取締役社長兼 C O O 三森 裕）は、新契約時の初回保険料、並びに第二回以降の保険料収納などにおいて、一切の現金授受を廃止し、完全キャッシュレス化に移行すると発表しました。同サービスは、5 月 10 日より全国一斉に開始されます。

今回の完全キャッシュレス化には、3 つの大きなメリットがあります。お客さまは、保険料等の支払いに際し現金を準備する煩わしさから解放されます。また、ライフプランナー（営業社員）は、手書き領収証の発行など現金受領に伴う入金事務から解放され、盗難や紛失といった現金によるリスクを無くすることが可能となります。そして、幣社としても入金管理事務の軽減と処理の迅速化といった効果が期待できます。

5 月 1 日までに全国 73 拠点、2,588 名の全ライフプランナーに携帯型の決済端末（添付資料参照）の配備を完了、これによりデビットカード機能が付与された銀行等金融機関のキャッシュカードおよび各種クレジットカードによる保険料収納などの決済が可能となりました。領収書は、決済完了後に端末から発行されるレシートになります。

なお、初回保険料の決済については、キャッシュカードやクレジットカードを持っていないお客さまや、持っていても利用対象外のカードである場合を想定して、「初回保険料の口座振替」を併せて準備しています。

なお、新契約時に初回保険料の決済をデビットカードで行ない、第二回以降も同一の口座からの引き落としを希望する場合、従来の口座振替依頼書の提出が不要となります。これはモバイル端末の「口座振替受け付けサービス」（「マルチペイメント協議会」が推奨する口座振替情報の自動設定機能）の利用によって可能となり、お客さまは、口座振替依頼書の記入の煩わしさや印鑑相違による書類の再提出といった手間からも解放されることになります。（設定可能な金融機関：添付資料参照）

<添付資料>

1. 利用可能な金融機関のデビットカード（キャッシュカード）

都市銀行全行（東京三菱銀行を除く）、郵便貯金、外国銀行すべて、地方銀行の 98%以上、信用金庫の 98%、すべての労働金庫、信用組合の約半数、農協・漁協の 36%

2. 利用可能なクレジットカード

VISA、Master、JCB、AMEX、NICOS、UCカード、三井住友カード、DCカード、UFJカード、トヨタファイナンス（ティーエスキュービックカード）

3. 第二回以降の保険料振替のための口座振替情報が自動設定可能な金融機関

みずほ銀行、UFJ銀行、三井住友銀行、郵便貯金

4. 端末外観

